



# 中学校卒業式

3月17日



第 710 号  
発行人●豊丘村公民館 館長 原 国人  
編集人●長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会  
0265-35-9066  
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村  
(4月1日現在 ※外国人を含む)  
男 3,344人  
女 3,374人  
総人口 6,718人  
世帯数 2,192戸

## コロナウイルスの影響で 閑散とした式を強いられた

令和二年の年明けから新型コロナウイルス感染症が国内外で報告され、三月には県内でも感染例が発生した状況をふまえ、感染拡大防止の観点から保育園、小中学校の卒業式を原則卒業（園）生、教職員、保護者のみで実施しました。ご協力に感謝するとともに、卒業（園）式の模様を紹介いたします。

前豊丘中学校校長  
牛越 雅紀

令和最初の卒業証書授与式は、実施するできないのではと心配されましたが、関係各所、保護者の皆様、地域の皆様のおかげで無事挙行できました。心より感謝します。臨時休業のなか、公立高校後期選抜を乗り越え、式の練習は開会の前三十分だけという状況でした

豊丘南小学校校長  
黒田 敏樹

が、卒業生は実に立派にふるまい、大きな成長を実感しました。代表の古瀬君は「この三年間で学んできたことを糧に、夢に向かって進んでいきたいと思っています」と旅立ちの言葉を述べ、三年間磨き上げた素晴らしい歌声を響かせて、堂々とそして晴れやかに学び舎を巣立っていきました。卒業生のこれからに幸多かれと祈るばかりです。

縮小実施のため卒業生とその保護者、教職員による式となりましたが、対面式により心を込めて卒業をお祝いすることができました。卒業生は、これまでの学校生活の中で友達と願いを共有しながら活動を創り出し、行動に変える力を育むこと

豊丘北小学校校長  
大平 亮治

本年度の卒業式はコロナウイルス感染拡大防止のために大変気を遣った式典に



ができたと感じます。これからも夢を持ち、ただひたむきに努力を積み重ねることにより、可能性の蕾を育て、自分色の花を咲かせてほしいと願っています。地域の皆様には、様々な機会において卒業生を温かく見守りご支援をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

いとおもっています。地域の皆様には、様々な機会において卒業生を温かく見守りご支援をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

なりました。児童や保護者の方々には例年のような通常の開催ができず申し訳なく思います。学校では、時間を短くして参加人数も少なくし、感染拡大防止を一番大切に考えざるを得ない状況でしたが、児童や保護者のことを第一に考えました。できる範囲で感動してもらえよう会場を保護者の方が近くで見られる対面式にし、児童の音楽会の時の演奏を流すなど工夫をしました。おかげで制約がある中でも、天候に恵まれいい雰囲気となり、外での見送りも感動的なものになりました。卒業生の益々の活躍を願っています。

## 保育園卒園式 3月24日 成長の支えに感謝

三月二十四日に村内三保育園で卒園式がおこなわれました。今回は当日、北保育園の保護者代表が読まれた謝辞を紹介します。

豊丘村北保育園  
保護者代表  
遠藤 航

卒園児の保護者を代表いたしまして、一言ご挨拶させていただきます。春の訪れと共に、巣立ちの季節となりました。

まずは、今日の佳き日に卒園式が行えたことを保護者一同うれしく思います。新型コロナウイルスへの対応でお忙しい中、ご準備いただいた皆様には感謝の言葉しかございません。子供達にとって、保育園は第二の家です。初めて保育園を訪れた時には、不安と緊張から親の元を離れられずに泣いていた子供たちも、今では自ら親の手を振りほどき、先生やお友達の元に飛び込んでいくようになりました。

保育園での生活の中で、子供達はうれしいこと、楽しいことだけでなく、かなしいこと、悔しいことを経験し、集団生活の中で人を思いやるという大切な心を学んだのではないのでしょうか。心の成長だけでなく、夏祭りや運動会での息の合ったダンス、竹馬、跳び箱、鉄棒、うんてい、登り棒等々、軽快にこなす子供達を目の当たりにして、運動の苦手な私はただただ感心させら

れるばかりでした。そんな心身ともに成長した子供達ではありますが、これから先の人生において困難という大きな壁にその行く手を阻まれることがあるかもしれません。そんな時は、保育園で築いた友情とあきらめない気持ちで乗り越えて欲しいと、親としては切に願うばかりでございます。



我々保護者も、この保育園で培った知識と経験を基に、子供達と向き合っていくしたいと思います。終わりにになりましたが、沢山の思い出と共に素敵な日々を与えてくれたこの家。そして、子供たちを我が子のように愛してくれた先生

(宮下正弘)

## 段丘

中国武漢が発生源と言われている新型コロナウイルスが蔓延している昨今、臨時休校であったり学校の入卒業式にも多大な影響を及ぼすほどの、豚コレラ蔓延以来の一大事となったこの春のこと、コロナウイルスは今でも終焉する兆しが見えないため気が抜けない毎日となっている。

ウイルスは人間だけではなく、今では生活に欠かす事のできないパーソナル・コンピュータの世界でも存在している。パソコンを動かすOS（オペレーティング・システム）を壊滅させたり、メールに隠され開いたために悪用されたりと、様々な拡張子のウイルスが存在する。しかし動物に影響を与えるウイルスは、人間にはあまり影響がないことであるのは、パソコンにも通じる所がある。OSによってウイルスも活動の範囲は限られる。たとえばウィンドウズでは破壊工作ができて、マックでは影響しないため秘かに存在するだけ、これをメールなどで相手に送ったとすればOS次第では動き出すといった惨事が発生する。駆除するワクチンソフトが必要なこと、ワクチンを製作するメーカーも新しいウイルスには、発生する度に供給する義務も必要となる。

病原菌のワクチンも早い段階で研究され、一刻も早いコロナウイルスの終息の情報待ち望んでいる。



## 虻川下流域三六災害体験談 (11)

### 豊丘南小学校の記録に残る三六災 その3

聞き手 原 章 (古畑)

☆前二回に続いて今回も南小に残された三六災の記録を紹介します☆

七月十一日(火)曇夕立有

短縮授業 給食実施 三

時集団下校 夕立で虻川に

出水あり 虻川の砂を午前

中自衛隊タンプカーにて搬

出 ブルドーザー二台虻川

七月十三日(木)晴

短縮授業 給食実施 三

時集団下校 虻川に終日ブ

ルドーザー

七月十四日(金)晴

短縮授業 給食実施 三

時集団下校 理科準備室の

地下室排水三時三十分〜四

時三十分迄

南小の記録は、ここまでとします。

前に書きましたように、

南小近くの家が虻川に流されたくらいですから、校庭の辺りで流れた水は、一時はかなりの量や勢いではなかったかと想像できます。三六災の時に消防団員で、南小の辺りで警戒任務に当たられた方は、足もとを水や砂がかなり勢いよく流れ、身の危険を感じながら作業をした」と、ご家族に話されたそうです。

南小学校がこの場所

に建てられて

いるのは、もともと

とこが虻川下流

域の氾濫原で、あ

る程度の平らな広

い土地が自然にで

きていたからと思

います。そういう

意味では、三六災

のような豪雨災害



現在の虻川橋付近

## オリンピック・聖火リレーが1年延期に

### =新型コロナの影響で=

新型コロナウイルスの感染が世界中に広がり、この夏のオリンピック、パラリンピックが一年延期されることになった。聖火リレーも延期になったが、一九九八年に続き、二回目の聖火ランナーに予定されていた酒井浩文氏に、公民館長がインタビュした。

―聖火リレーやオリンピックが延期になってしまったことについて率直な感想を。

◎仕方ないこと。聖火リレーだけ強行することは適当でない。コロナウイルスの不安が無くなってからオリンピックを開催した方が、選手にとっても、観戦する人たちにとってもありがたいことと考えている。

ただ、競技には種目特性があり、五輪の開催が延期されたことによって、若い

世代より年齢の高い選手には少し不利になる種目もある。陸上で言えば、長距離より、短距離種目の方が調整は大変なのではないか。でも皆、一流選手なので、当日に合わせてくるだろう。

―酒井さんは一九九八年の長野冬季五輪の際の聖火ランナーに続いて二回目だが、そもそも「聖火」の印象をどんなふうに思っているか。◎「神聖なもの」という印象だ。今回、二回目のランナーとして走ることができれば、感慨深いものがある。―来年の五輪への期待は。◎一年延期になったことは、楽しみが一年後まで続くというところ。札幌でマラソンと競歩を観戦したい。特に、金メダルにいちばん近いと言われる鈴木雄介が歩く姿を間近に観たいし、五十キロ競歩は今回が最後なので注目している。



22年前の1月27日、県道走る酒井さんと伴走者たちの勇姿。写真は村内の人から贈られた。

### シリーズ「元氣な高齢者」⑥⑥

## 苦勞乗り越え 今にある健康幸福

原ささほさん

九十歳

下市場在住



しており旋盤工として働き、二年ほどでネジ切りを任せられるようになった。B29が頻繁に飛来するなど緊迫した時であったが、約三年後に父親の強い勧めで実家に帰り、家族で満州に渡ることを決めた。昭和二十年の五月のことで人生の大きな岐路であった。

昭和四年に現在の飯田市山本の島岡家で五人きょうだい(男四、女一)の総領として生まれた。高等科二年を卒業し名古屋の三菱電機へ就職した。同社は軍需工場であったが、当時は戦局の直中にあつたため、職場の多くは女性であった。主に空気ポンプの部品を製造

ごした。運良く二十二年に帰還できたが、母親は病気で、三人の弟は栄養失調で現地で亡くなった。

帰還できたものの実家を売却していたため、親戚に身を寄せて暫くの間は看護士の見習いとして働いたが、その後、愛知県の織物会社に移り必死に働いた。しかし翌年帰還した父親が、林業で生計を立てており、その留守宅を守るため呼び寄せられ、きささんは地方事務所所轄の苗圃(木の苗を育てる)業に携わった。

学校時代の恩師の紹介により二十三歳の時、神稲の森林組合に勤めていて六歳上の誠さんと結婚、分家して現在地近くに居住した。子供が幼かった頃は日々の生活に懸命であったが、やがて中学校を卒業し、子育てが一段落した頃から働きに出た。名古屋で身につけた旋盤工の技術を活かした、高森町の精密機械加工会社であった。千分の八mmという高い精度を要求されるもので、品質を満たすため残

業することも屢々で、夜遅くに明神橋を渡って帰宅するのはとても辛かった。途中、出たり入ったりはあったが、五十九歳まで勤めた。誠さんは腕に障害を抱えていたが、それが仕事に影響することは無く、逆に奮起して人一倍闘志を燃やして仕事に臨んでいた。きささんも決して引目に思うことはなかった。森林組合の仕事は四十二歳で退き天竜産業を立ち上げ、原木、松茸、竹間連工芸品、更に造園業など手広く取り扱った。七十五歳で辞めてからも、現在のクリーンエネルギーの先駆けとなる風力発電を提案したりし、仕事への情熱、野心は鎮まることは無かったが、九十三歳で亡くなった。

きささんは、膝、目および胃癌の手術をしたが、現在はそれを感じさせることもないほど元気で、脚力、視力、聴力など問題ない。家族に迷惑を掛けないように自分のことは自分で処理するよう心がけている。デイ

・知らなかったのか、とすればなぜか  
・その他学年の先生方の人間関係 等々。

これだけ考えただけで沢山の問題が垣間見える。さて、今回私が言いたいことは他にあるのだ。それはこの忙しい先生方が、生徒に向き合うにはどうすれば良いのかということだ。それを私の拙い経験の中から提示してみたい。それは一言で言えば「児童生徒が自分達でいるいろいろなことをやり遂げられるように、指導

サービスの世話になることもなく常備薬も無いという健康体である。

日記は三十年間ほど欠かさず書き続けている。若い頃から趣味にしていたパッチワーク、編み物は今でも続けている。また野菜作りに熱心で、こまめに体を動かしている。テレビはニュースが中心であるが、サッカー、ゴルフなどスポーツものを見る。加えて電子辞書、スマホなど最新機器を使いこなしており、気持ちは常に若い。二人の子供は長男が東大阪、長女が埼玉と遠方に住んでおり寂しく思う時もある。そんな時、近所の人々の何気ない心遣いで支えられ暮らせているのだと感謝で一杯になる。

夫婦でニージーランド、シンガポール、中国などの海外を始め国内を隈無く回ったことは楽しい思い出。振り返れば苦勞の方が多かったが、苦々しくも懐かしく思い出される。平和な世界を願うばかりだ。

文責 桐崎 長一

### 寄稿 最近のニュースから

南市場 目下部富次

近年学校におけるいじめやいじめによる自殺など、悲しいニュースが毎日のように報道されている。その原因が先生方が多忙で子供の指導に手が回らないのだという。学校教育で最も大切なことは子供の教育だと思ふのに、その忙しい原因は、何なのか、みんな考えなくてはならない。

私の勤めていた時代と現代とは考え方が大きく変わっているが、一番の根本は「子供の教育」である。多忙の原因が「表面的な子供の指導」の時間であつてはならない。例えば  
・教育委員会等に提出する書類  
・校長、教頭等に対する報告

・保護者等からクレームをつけられないか 等々。  
先日某市でいじめ指導の不備から生じた自殺事件について考えてみよう。事件の生じた学校の校長は、昨年末で当該学校の教頭であつたという。そのいじめを最も詳細に把握していなければならなかった。この立場にありながらこの事件ではなかった。なぜ把握していなかったのかが問題である。様々な場面が浮かぶ。

・知っていて自身の昇進の為に報告しなかったのか

(次号につづく)



# 学校に新たな息吹

村の小中学校教職員異動

## 転出・退職

### ◆南小学校

中村 一男 松川中央小へ  
田中 崇 高森北小へ  
伊藤 美奈 伊那東小へ  
宮尾菜々美  
日滝小（須坂市）へ  
栗野 朱音 赤穂小へ  
友野 里奈 高森南小へ  
宮澤 悠紀 退職  
中村友香里 南箕輪小へ

### ◆北小学校

田中 和恵 箕輪中部小へ  
橋本 雅裕 松川中央小へ  
八木 麻子 松尾小へ  
今村 節子 座光寺小へ  
毛涯 計人 喬木第一小へ  
（豊丘南小兼務）  
南林美恵子 高森南北小へ  
中塚 賢一 退職  
磯部 和文 退職

### ◆南小学校・北小学校

南波 洋子 退職

### ◆中学校

牛越 雅紀 南信教育事務  
所飯田事務所  
中島 博文 天龍中へ  
塩澤 宏子 鼎中へ  
小林由貴子 鼎中へ  
金澤 由佳 東部中（伊那市）へ  
林 伸圭 旭ヶ丘中へ

## 転入

### ◆南小学校

嶋岡あゆみ 下條小より  
平沢 由紀 山本小より  
星野 美音 新規採用  
北原 亮  
西村 昇 松尾小より  
造船 圭子 図書館司書  
毛涯 計人 豊丘北小より  
小平 梨香 学習支援員

### ◆北小学校

山崎 恵一 原中より  
丸山 大輔 上郷小より  
原 愛実 新規採用  
橋澤 圭祐  
藤塚小（埼玉県）より  
後藤喜美恵  
阿智第一小より  
竹内富美子 大鹿中より  
三澤 憲寿 理科専科  
曾田 勝 用務員

### ◆南小学校・北小学校

溝上 美明 ICT支援員

### ◆中学校

久保田みどり  
飯田西中より  
室岡 裕幸 王滝中より  
一本鎗美希 新規採用  
小林 和子 鼎小より  
小沢 誠 新規採用  
日向 邦夫 旭ヶ丘中より  
羽生 純玲 新規採用

## 北の大地にあとがれて

津田 孝平 #2

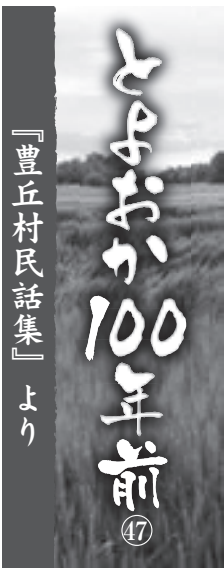
北極圏では「サーミ」という少数民族が暮らしている。彼らはノルウェー、スウェーデン、フィンランド、ロシアと国をまたいで生活圏を持っている。使用言語はサーミ語。僕がお世話になったエイラーファミリはノルウェーに居住地を置くため、ノルウェー語を喋ることもできる。僕はサーミ語をあいさつ程度しかわからないため、彼らとの会話はもっぱらノルウェー語を中心としていた。サーミは出会い頭、「ボーレス」といなが握手をかわす。氷点下の世界でかわす握手はぬくもりを直に感じ、自

分や相手がこの世界に存在していることを強く感じる。そんなサーミの歴史は長い間の弾圧の中にあつた。十七世紀ごろから始まったキリスト教徒の改宗運動やノルウェー政府の同化政策によつてサーミの文化やシャーマニズム的な考え方は大きく変わってしまった。十九世紀には弾圧は一層強くなり、サーミの文化やサーミ語の使用を禁止されるまでになってしまった。もちろん「ボーレス」の挨拶もできなくなり、苦しい思いをする日々が続いた。第二次世界大戦後、サーミの組織化が強

くなり、ノルウェー政府がサーミの地にダムを建設しようとしたことから、ノルウェー政府とサーミが衝突。最終的にノルウェー政府は強制的に彼らを排除し、建設を行った。ただこのことが各国のメディアで取り上げられ、サーミがサーミとしての権利を取り戻すきっかけとなった。現在ではサーミの権利は保障され、差別や弾圧を受けることはなくなった。このような歴史からサーミは「サーミ」というアイデンティティに誇りを持っている。そんな彼らとかわす「ボーレス」の挨拶は、歴史を知った後に行う一層感慨深い。



サーミの伝統衣装を着てキリスト教徒の堅信式を行う若者



『豊丘村民話集』より

### 城の稲荷神社の事など

元島隆男

城の中央の山林のうちに御座すお稲荷様は、そもそも京都の伏見稲荷大明神の

分霊にて、宝暦三年三月、城村へ分霊するとのお墨付き、宮司松本筑後守の古文書が現存しております。その手前には、別に洞岩寺の方位守護神・豊川稲荷の祠

があり。明治四十二年、各部落ごとにある神社は一方所に合祀すべしという法律ができました。よつて城のお稲荷様、北村の権現様、市場のお三王様等、現在の諏訪社へ合祀になった次第であります。今では拝殿の東奥末社として祀られています。立派な建築物は元の城稲荷神社のお祠であり、拝殿の

し、屋敷造りは石工の小池住吉氏、お座祠造りは大工の片桐金助氏が春の初午祭りまでにと急ピッチで竣工。三月八日の真夜中、祠掌片桐吉次郎により厳かに遷宮式が行われ、鎮座ましますことになりました。

五日は参拝者が早朝から織るが如くであります。合社付記 北村の権現様の森木の杉六本は、元の明神橋のピーヤ（橋脚）となりました。設計者は現在の伊藤商店の先祖により、建設資金は当時有名だった片桐良弥氏により架設され、天竜川東西の通行費は人が片道二銭、馬車は五銭。社会に寄与すること大。

（豊丘村民話集・第老輯（昭和五十二年）より）  
文責 壬生雅穂

## こちら資料館 203 幕府の巡見使が来た ②

天保九年（一八三七）の巡見使は天竜川の洪水のため予定より三日遅れた間四月

月二九日（新暦六月頃）飯田側から「伊久間の渡」に着しました。そこから行列（絵図）を組んで巡見使街道を河野村に向いました。その道中、三名の巡見使は駕籠の中から役目上の質問をしました。答えたのは駕籠に付き添った庄屋格の村役人三名です。但し、領主に都合の悪いことを言わないよう、知久氏側から予め「想定問答集」が用意され、答え方の指示がありま

した。また、三人がそれぞれ異なる答えをしないよう、内容の要点を扇子の両面に書いて、それぞれ三本ずつ用意していたそうです。巡見使に出した料理の記録も残っています。大皿に山芋・椎茸・竹の子・玉子・麩・鰯を盛り、すずき・岩茸・豆腐を入れた汁と香の物が添えられました。当地の名物は蕎麦だったようですが、夜食として出す予定が、巡見使側から断られたとのこと。

また、巡見使との問答の記録から、山の境界や利用権を巡つての隣村同士の争い（山論）が頻繁にあったことが分かります。以上、第二回古文書研究発表会の概要を紹介しました。



巡見使行列の図

さて、その後、城部落においては不吉なことが続出。たとえば狂人が出たり、火事三件、倒産の家二件等々。そこで有志相寄り、当時、有名な御嶽行者で上飯田の伊藤梅次郎氏に祈禱してもらい、神様のご機嫌を伺うこととなり、大正三年一月の末に五名のもの

いよいよ行は極みに達し、幣束を振るうちにお稲荷様が乗り移り申すには「俺はここは居心地が悪い。諏訪社や八幡と一緒にでは我慢できぬ。元の城のあの森へ帰してくれ。左様すれば必ず部落の安泰を守護し繁栄を来し願ひも叶えてやる」と申された。

それから部落民は協力し、屋敷造りは石工の小池住吉氏、お座祠造りは大工の片桐金助氏が春の初午祭りまでにと急ピッチで竣工。三月八日の真夜中、祠掌片桐吉次郎により厳かに遷宮式が行われ、鎮座ましますことになりました。

現在毎月一日と定め部落老人クラブが数年来、お宮山林の掃除手入れを行い、信者の奉納する鳥居も林立し、特に一月十



文責 壬生雅穂



～シリーズ～ 豊丘の自然

No.195

アズマヒキガエル  
(ヒキガエル科)



新型コロナウイルス  
関連で、まず書く。ウ  
イルスは、それ自体で  
は生きていけない。宿  
主が必要。その宿主に  
人間がなった時、今回  
のような大流行になる。  
今までも天然痘（十  
六世紀）、スペイン風邪  
（一九一八～一九二二）、  
エボラ出血熱、インフ  
ルエンザ、SARS、  
MERSなどが知られ  
ている。エイズ、ノロ

もそう。  
今回の主役はアズマヒキ  
ガエル。「ガマ」「ガマガ  
エル」「ヒキタ」「イボヒキタ」  
などとも呼ばれている大き  
なカエル。オスの背面は黄  
褐色。メスは茶褐色。三月  
中旬から一斉に集結して繁  
殖に入る。メスの数に比べ  
てオスの数が多いため、メ  
スをうばい合う様子(?)を  
をさして、「カエル合戦」と  
呼ぶ。  
(山田 拓)



時代を切り取り、「私たちの  
近未来」をメインテーマに、  
文化としてのスポーツ、地  
球環境問題、人工知能を取  
り上げ、六月、七月にかけ  
て連続講演会を開きます。  
◆Let's play in English  
小学校の学習指導要領の  
改訂で小学校の外国語教育  
が本格化することから、英  
語が好きな子どもたちの育  
成をめざして、「英語で遊ぼ  
う」をテーマに、小学校低  
学年児童を対象にしたイベ  
ントを年数回開設します。

イベントでボランティア活  
動を行うことを応援します。  
◆子ども芸術文化支援事業  
地域の音楽文化の向上を  
めざして、小中学生を対象  
にした少年少女合唱団の立  
ち上げを支援します。  
◆子ども平和学習事業  
夏休みに、主として小学生  
を対象にして、郷土に残る教  
材をもとに平和について考え  
る現地学習会を開きます。  
◆人形劇豊丘公演  
百年以上前から世代を超  
えて愛されてきた不朽の名  
作「オズのまほうつかい」  
を、日本を代表する人形劇  
団むすび座（名古屋）がス  
ケール大きな舞台でお届け  
します（八月十日）。

よる一年間の活動の集大成  
として、二月十四日に開催  
します。  
◆とよおか寄席  
おなじみの三遊亭金時師  
匠が、「三遊亭金馬」を襲名  
して二月二十七日に登場。  
人情噺をたっぷり。  
◆コミュニティスクール・  
地域学校協働活動の推進  
児童生徒の生きる力と、地  
域の教育力の向上を図るこ  
とを目的として、引き続き  
て「信州型コミュニティス  
クール」を開設して、学校支援  
ボランティアが学校活動を  
支援し、併せて、地域学校  
協働活動」を推進します。

日の匂ひ紅ちよつぱりと牡丹の芽  
記念樹の白梅咲きし子は母に  
花冷や新型コロナひたひたと  
うららかに耕田に蒸気立ち上る  
下萌や造舟小屋に木の香満ち  
温暖化善し悪しあるも野路うらら  
連れが出来農遊びの足のばしけり  
楊貴妃の香と惑ひたる沈丁花  
くれなひの色濃き藪の落椿  
段丘の初音に目覚む介護院  
列島の気鬱の春の閑深し  
安富桜樹令を重ね語り継ぐ  
いつしかに見頃を終へる姥桜  
しゃばん玉風の間に間に一歳児  
花辛夷諸手を挙げて国憂ふ

俳句 短歌

磯部セツ子  
田中 静  
片桐 洋子  
森田 恵子  
三島 里子  
木下 眞水  
松岡 照子  
宮下 公  
宮下 純子  
丸山 時子  
池田 美和  
矢島千勢子  
河手 洋子  
林 恵美子  
北原 昭子

（とよおか短歌会）  
一昨年はマイナス九度の朝ありて蛇口氷れど今年は暖冬  
りんごの木伐りて丹波の大栗を新たに植える樹形整え  
鶏の餌にありつく 鴨よ野山の木の實乏しいらしき  
寒に耐え彼岸に咲きし白木蓮亡母のやさしき笑顔のようで  
すがすがところばん塾に楽しみて足腰鍛えてなほ生きんとす  
久びさに押し入れ奥のミシン出しガーゼのマスク十枚作る  
中空の飛行機雲の縞模様地上の喧噪と比べて眺む  
何時もよりいくらか早く鶯の初啼きを聞く小雨の朝に  
暖かな陽差しに芽吹く路のとう子等に送ろう春を包みて  
春陽浴び朝刊三紙読み終えぬいづれの記事も新型コロナ  
大倉 知江  
北澤 秀子  
松尾ヒサコ  
福澤 亀人

交流学習センターゆめあ  
るては、平成二十六年十月  
オープン以来、立地の良さ  
から、村内はもとより、飯  
伊地域の利用もあつて、年  
間二万七千人余の皆さんの  
交流と学習の拠点として、  
その役割を果たしています。  
その中心となつている多彩  
な公民館事業や教育委員会  
の社会教育事業の主なもの  
を紹介しましょう。

◆公民館学習会  
健康、福祉、歴史、人権  
など、五月から三月までの  
全十回にわたる連続講座を  
開設します。十月には安曇  
野方面に童謡唱歌を巡る旅  
も計画します。  
◆大豆作りみそ作り講座  
大豆の栽培を通して農業  
の楽しさや収穫の喜びを体  
験し、みそまで作っちゃお  
う（農業委員会共催）。  
◆村民ゴルフ大会  
二十三日目の村民ゴルフ  
大会を高森CCで開催しま  
す。  
◆時事問題セミナー  
めまぐるしく動いている

◆石造文化財調査事業  
路傍に眠る馬頭観音、庚  
申、道祖神などは、先人の  
思いが伝わるタイムカプセ  
ル。これらの石仏を二年計  
画で調査してまとめ、村民  
の皆さんの学習教材として  
後世に伝えます。  
◆地域みらい塾  
中学三年生の希望者を対  
象とした公設学習塾。英・  
数・理の三教科について、  
外部講師が七月から二月ま  
で毎週指導してくれます。  
◆中学生ボランティア活動  
夏休み、冬休み、春休み  
中に、中学生が自主的に村  
内の福祉施設や教育施設、

◆星空観測会  
秋の澄んだ星空を大型天  
体望遠鏡で覗いてみよう。  
◆公民館まつり  
公民館に集うグループに  
ます。

歌は世につれ～ 五話

母の日に寄せて「東京だヨおっ母さん」

上佐原 小池 光好

重橋の前で記  
念の写真を  
とった。  
♪（三番）こ  
こが浅草  
よ お祭りみ  
たいに賑やか  
ね♪ 浅草に  
行き、観音様  
をお参りした。  
♪（二番）あ  
れが九段  
坂♪ 母の二  
人の兄が祀られて（船村  
の兄も戦死している）靖国  
神社には残念ながら行けな  
かった。

母の歌が多いのはなぜだ  
ろう。思うに、母親という  
のは、故郷の情景とともに  
誰もが抱いている原風景だ  
からではないだろうか。そ  
れが琴線に触れるのであろ  
う。母に捧げるバラード」  
を作詞した武田鉄矢は、そ  
の歌の台詞で言っている。  
「あなたは、何から何まで故  
郷そのものです」と。  
私は高校卒業以来、母と  
一緒に暮らしていない。こ  
れからという矢先、母は施  
設生活となつてしまった。葛  
藤の日々であったが、はつ  
らつデイサービスで行われ  
た誕生日祝いの寄せ書きの  
お礼の中で、「今が一番幸  
せ」と記していたことが、  
せめてもの救いである。



（豊丘村川柳クラブ豊柳会）

▼課題「助」 久保ひろし 選

生活に助言をもらう子の力 西元 峯子  
野良仕事助っ人うれし早仕舞い 市沢 照子  
文句言い若い助けを待っている 原 美風  
軸吟：ボランティアに被災地の人泣き笑い

▼課題「移」 互 選

目移りの末に選んだ服未練 久保ひろし  
時移りA I スマホ追いつけず 林 もも子  
人と物の移動を止めるコロナ菌 桃沢 健介  
昭和史に満州移民鎗残し 福沢 勝美

▼自由吟 桃沢健介 選

信号で止まった車みなマスク 安田 喜子  
日米は司法にまでも口を出し 山本 義彦  
軸吟：法曲げて法の番人決めるのか